

2022年5月期第2四半期 決算説明会

(証券コード：7713)



2022年 1月 21日 (金曜日)

目次

1. 2022年5月期第2四半期 決算概要
執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之
2. 2022年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之
3. 2022年5月期 営業戦略
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

世界経済は各国での経済活動の再開が進み、回復基調で推移。
特に電子部品・半導体業界等を中心に産業分野向けの需要が好調に推移。

	20/5期2Q	21/5期2Q	22/5期2Q		期初予想差額	
[百万円未満切り捨て]	累計実績 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	構成比	(予想比)	サマリー
売上高	4,299 (▲6.7%)	4,054 (▲5.7%)	4,989 (+23.0%)	100.0%	+439 (+9.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関、公的機関向けは堅調に推移 ・産業分野向けは、国内・アジア地域では、電子部品・半導体業界向け光学要素部品が好調 ・米国・欧州ともに堅調に推移
営業利益	397 (▲44.0%)	380 (▲4.2%)	754 (+98.3%)	15.1%	+239 (+46.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の製品構成の変化による粗利率改善 ・全社的な経費削減を推進し、販売管理費率を抑制
経常利益	452 (▲43.3%)	446 (▲1.2%)	824 (+84.6%)	16.5%	+254 (+44.6%)	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	295 (▲44.4%)	320 (+8.5%)	605 (+88.8%)	12.1%	+215 (+55.3%)	
1株当たり 四半期純利益	41円75銭	45円30銭	85円54銭	—	—	
平均為替レート						
1USD	109.00円	106.68円	110.18円		107.00円	
1ユーロ	121.43円	121.36円	130.97円	—	129.00円	
1人民元	15.76円	15.21円	17.04円		16.50円	
1SGD	79.60円	76.63円	82.05円		80.00円	

2 セグメント別売上高・営業損益(連結)

売上高

【百万円未満切り捨て】

製品区分	20/5期	21/5期	22/5期	構成比	前年同期比
	2Q	2Q			
	累計実績	累計実績	累計実績		
要素部品事業	3,571	3,275	4,315	86.5 %	+31.7 %
光学基本機器製品	1,274	1,119	1,367	27.4 %	+22.1 %
自動応用製品	682	542	747	15.0 %	+37.8 %
光学素子・薄膜製品	1,614	1,613	2,201	44.1 %	+36.4 %
システム製品事業	762	809	719	14.4 %	▲11.0 %
光学システム製品	762	809	719	14.4 %	▲11.0 %
消去	▲35	▲29	▲45	▲0.9 %	-
合計	4,299	4,054	4,989	100.0 %	+23.0 %

営業損益

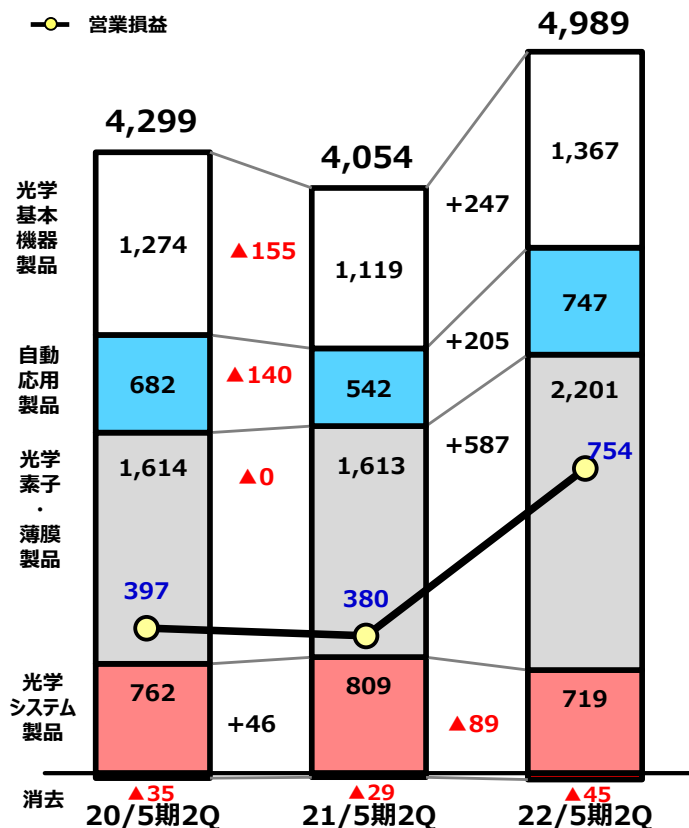
【百万円未満切り捨て】

事業区分	20/5期	21/5期	21/5期	前年同期比
	2Q	2Q	2Q	
	累計実績	累計実績	累計実績	
要素部品事業	605	545	978	+79.4 %
システム製品事業	40	74	51	▲31.5 %
消去	▲248	▲239	▲274	-
合計	397	380	754	+98.3 %

売上高

【百万円未満切り捨て】

● 営業損益



3 グループ所在地別売上高・営業損益(連結)

20/5期2Q累計

21/5期2Q累計

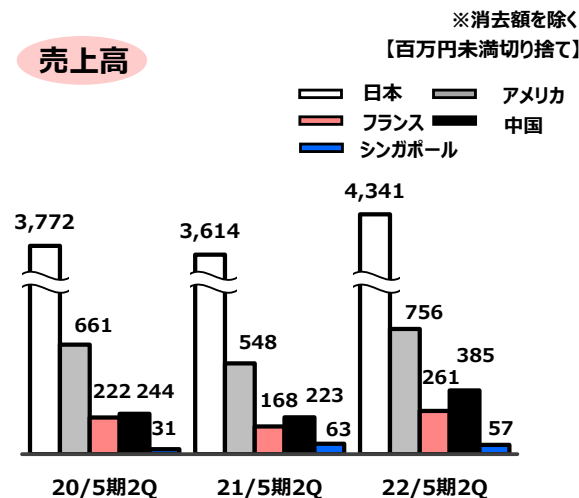
22/5期2Q累計

[百万円未満切り捨て]

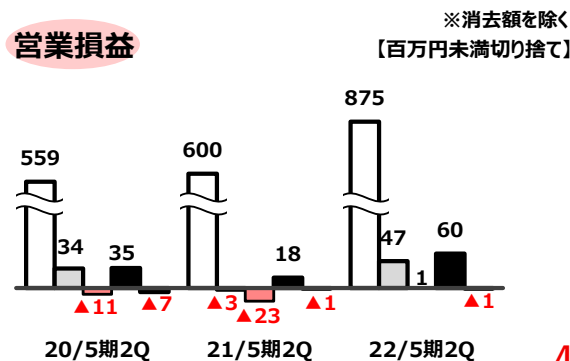
売上高 営業損益 売上高 営業損益 売上高 営業損益

日本	3,772	559	3,614	600	4,341	875
アメリカ	661	34	548	▲3	756	47
フランス	222	▲11	168	▲23	261	1
中国	244	35	223	18	385	60
シンガポール	31	▲7	63	▲1	57	▲1
消去又は全社	▲632	▲213	▲562	▲209	▲812	▲228
合計	4,299	397	4,054	380	4,989	754
平均為替レート						
1USドル		109.00円		106.68円		110.18円
1ユーロ		121.43円		121.36円		130.97円
1人民元		15.76円		15.21円		17.04円
1SGD		79.60円		76.63円		82.05円

売上高



営業損益



COVID-19の影響続くも、各国で経済再開が進み、総じて堅調に推移。

北米地域はバイオ・医療業界向けが堅調。欧州地域は官公庁・産業分野とも堅調。
アジア地域は中国の産業分野向けが堅調も、東南アジア地域はやや弱含みで推移。

【百万円未満切り捨て】	20/5期2Q累計		21/5期2Q累計		22/5期2Q累計		前年同期比	サマリー
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比		
売上高	4,299	100.0 %	4,054	100.0 %	4,989	100.0 %	+23.0 %	
海外売上高	1,303	30.3 %	1,170	28.9 %	1,684	33.8 %	+43.9 %	・ 各国で経済再開が進み総じて堅調に推移
アメリカ	594	13.8 %	453	11.2 %	597	12.0 %	+31.8 %	・ 産業リピート案件及び新規受注が回復
ヨーロッパ	219	5.1 %	184	4.6 %	277	5.6 %	+50.1 %	・ 産業リピート案件及び新規受注が回復
アジア・ オセアニア	464	10.8 %	509	12.6 %	768	15.4 %	+50.8 %	・ 半導体業界等の産業分野向け 生産・検査装置の組み込み用途が好調
その他	24	0.6 %	23	0.6 %	41	0.8 %	+79.5 %	

5 売上高・利益率推移 (連結)

[百万円未満切り捨て]

- 売上高
- 売上総利益率
- 営業利益率

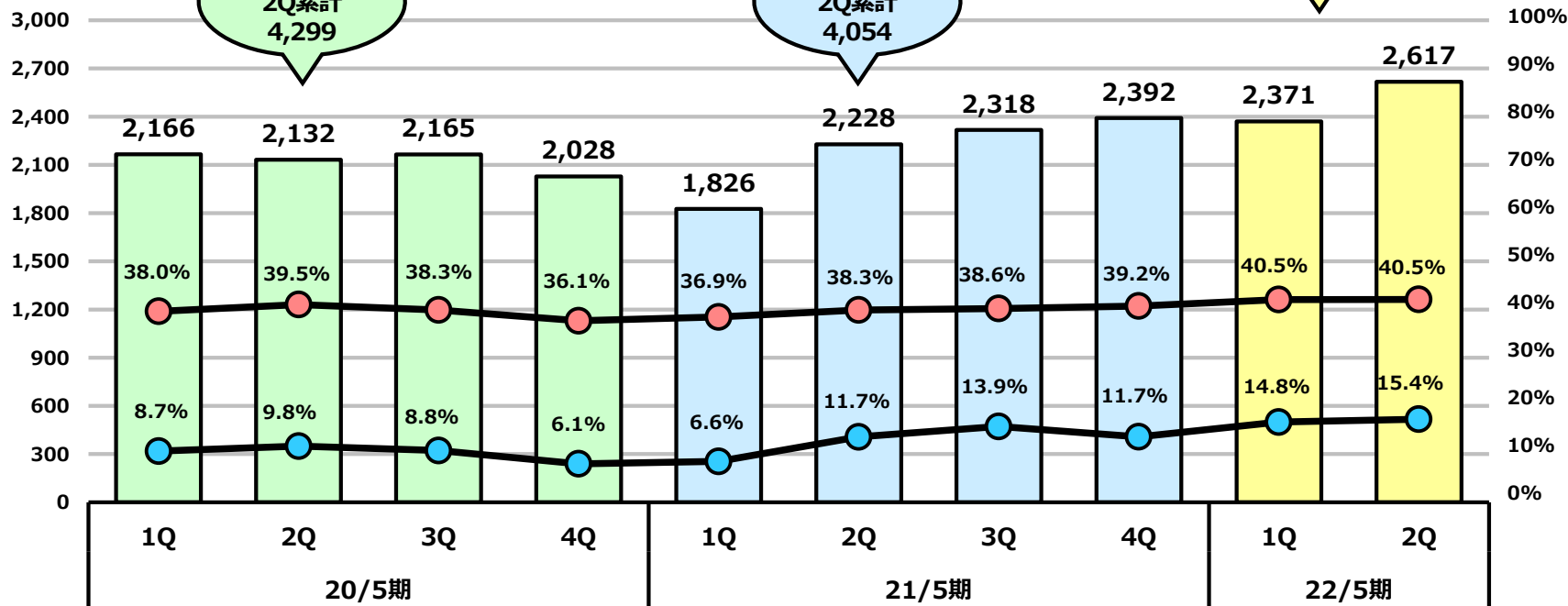
売上高

20年5月期
2Q累計
4,299

21年5月期
2Q累計
4,054

22年5月期
2Q累計
4,989

利益率



売上高原価率は前年同期比で2.8pt改善。

増収に伴い材料費等は増加も、売上高の製品構成の変化により材料費等の構成比率が減少。
需要増加に伴い労務費が上昇。設備投資の執行時期の見直しにより減価償却費は抑制。

【百万円未満切り捨て】	20/5期2Q		21/5期2Q		22/5期2Q			サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	4,299	100.0 %	4,054	100.0 %	4,989	100.0 %	+23.0 %	
材料費等	1,641	38.2 %	1,506	37.2 %	1,796	36.0 %	+19.2 %	<ul style="list-style-type: none"> 産業分野向けのリポート・OEM案件の光学素子薄膜製品・光学基本機器製品が好調 光学システム製品を中心に在庫評価損が増加
労務費	756	17.6 %	740	18.3 %	856	17.2 %	+15.7 %	<ul style="list-style-type: none"> 収益増加による賞与支給額の増加 需要増加により残業時間が増加傾向
減価償却費	120	2.8 %	131	3.2 %	116	2.3 %	▲10.9 %	<ul style="list-style-type: none"> 設備投資の執行時期の見直しにより抑制
その他	113	2.6 %	150	3.7 %	198	4.0 %	+31.9 %	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品費、修繕費、関税等の増加
売上原価	2,633	61.3 %	2,527	62.3 %	2,967	59.5 %	+17.4 %	
売上総利益	1,665	38.7 %	1,527	37.7 %	2,021	40.5 %	+32.4 %	

販管費率は前年同期比で2.9pt改善。

全社的な経費削減を推進して、販管費の構成比率を抑制。売上高と比べて増加率も大幅抑制。
収益増加を背景に賞与支給額増加。継続的な研究開発活動により試験研究費増加。

【百万円未満切り捨て】	20/5期2Q		21/5期2Q		22/5期2Q		前年同期比	サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比		
売上高	4,299	100.0 %	4,054	100.0 %	4,989	100.0 %	+23.0 %	
販売促進費	200	4.7 %	168	4.1 %	177	3.6 %	+5.4 %	・高難度案件等の見積作業費の増加
広告宣伝費	50	1.2 %	25	0.6 %	24	0.5 %	▲4.9 %	・カタログ冊子の配布からウェブカタログへの移行
人件費	509	11.8 %	469	11.6 %	535	10.7 %	+14.1 %	・収益増加による賞与支給額の増加
減価償却費	36	0.9 %	39	1.0 %	43	0.9 %	+10.0 %	・海外グループ会社のITシステム資産の 供用開始に伴う増加
試験研究費	164	3.8 %	164	4.0 %	178	3.6 %	+8.6 %	・継続的な研究開発により増加
その他	307	7.1 %	279	6.9 %	308	6.2 %	+10.2 %	・荷造運送費の増加 ・租税公課（外形標準課税）の増加
販売管理費	1,268	29.5 %	1,146	28.3 %	1,267	25.4 %	+10.5 %	
営業利益	397	9.2 %	380	9.4 %	754	15.1 %	+98.3 %	

8 バランスシート概要(連結)

【百万円未満切り捨て】	21/5期	21/5期	22/5期		サマリー
	2Q	期末	2Q	前期末比	
現金・預金	3,439	3,113	2,976	▲4.4 %	
受取手形・売掛金	1,930	1,925	2,083	+8.2%	
電子記録債権	637	567	754	+33.1 %	・ 売上高の増加による売掛債権の増加
棚卸資産	2,288	2,271	2,443	+7.6 %	
その他流動資産	1,577	2,325	2,698	+16.1 %	・ 有価証券(短期金銭信託)の増加
有形・無形固定資産	3,793	3,802	3,687	▲3.0 %	
投資等	3,267	3,229	3,327	+3.0 %	
資産合計	16,933	17,235	17,972	+4.3 %	
支払手形・買掛金	489	506	600	+18.6 %	・ 外部調達による増加
電子記録債務	402	526	571	+8.5 %	
短期借入金	684	276	473	+71.6 %	・ 借換のタイミングによる増加
その他流動負債	667	870	830	▲4.6 %	
長期借入金	502	368	274	▲25.5 %	・ 借換のタイミングによる減少
その他固定負債	811	824	838	+1.8 %	
純資産合計	13,376	13,862	14,382	+3.7 %	
負債・純資産合計	16,933	17,235	17,972	+4.3 %	

【百万円未満切り捨て】	21/5期 2Q累計	21/5期 通期累計	22/5期 2Q累計	サマリー (当期中の増減額の要因)
営業活動	439	1,577	306	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人税と消費税の支払いによる減少 ・ 売掛債権の増額による減少 ・ 棚卸資産の増加による減少 ・ 仕入債務の増額による増加
投資活動	▲670	▲1,486	▲387	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有価証券運用額を増加したことによる減少
フリーキャッシュフロー	▲230	91	▲81	
財務活動	316	▲370	▲44	<ul style="list-style-type: none"> ・ 借入の返済による減少 ・ 配当金の支払いによる減少
現金及び 現金同等物の期末残高	3,519	3,247	3,142	

目次

1. 2022年5月期第2四半期 決算概要
執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之
2. 2022年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之
3. 2022年5月期 営業戦略
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

◆スローガン

「アジアNo. 1」から

「世界No. 1」へ

◆事業戦略 基本方針

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

**急激な需要回復と
調達リスク**

急激な需要回復による
製造業の生産活動が活発化

**先端分野の
投資拡大**

半導体・量子・IT・バイオ等
先端分野向け投資が拡大

サステナビリティ

持続可能な社会に
関する意識の高まり

シグマ光機の重点戦略

**安定供給、成長分野向け積極展開とともに、
環境・社会・ガバナンスへの取り組みを強化**

産業分野を中心とした好調な受注環境を背景に、期初業績予想を上方修正。

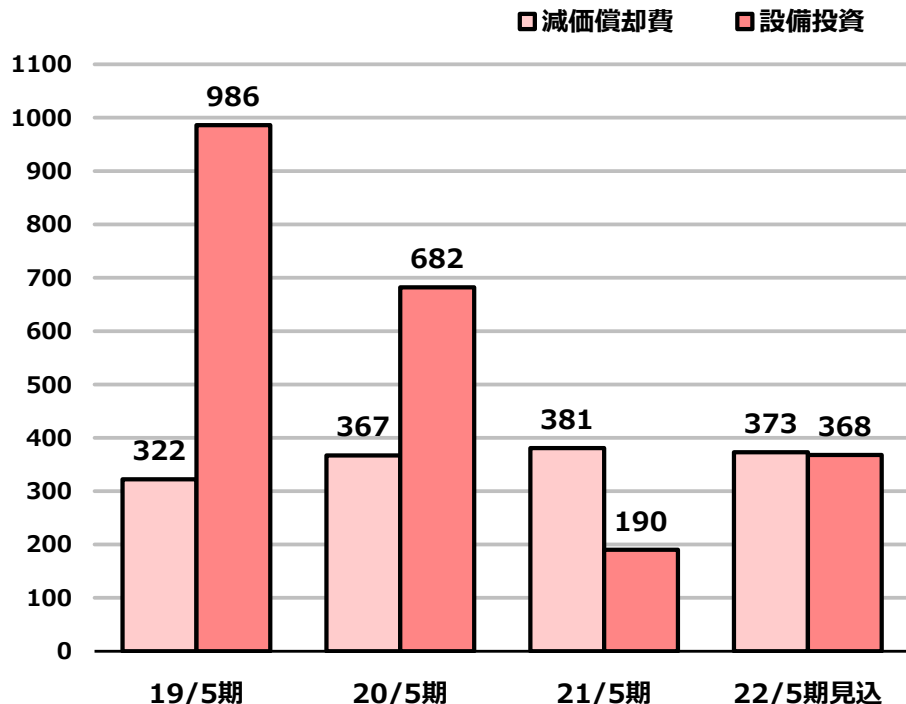
電子部品・半導体業界等を中心とした一部の産業分野向けは引き続き回復基調で推移。
COVID-19の変異株出現、半導体や一部原材料の供給不足等の先行きへの懸念材料が表面化。

【百万円未満 切り捨て】	20/5期		21/5期		22/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期実績	下期 修正予算	通期 修正予算	構成比	差額	増減率
売上高	8,493	100.0 %	8,765	100.0 %	4,989	4,895	9,885	100.0 %	+1,119	+12.8 %
営業利益	711	8.4 %	983	11.2 %	754	615	1,370	13.9 %	+386	+39.3 %
経常利益	840	9.9 %	1,152	13.2 %	824	675	1,500	15.2 %	+347	+30.1 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	595	7.0 %	822	9.4 %	605	464	1,070	10.8 %	+247	+30.1 %
1株当り 当期純利益	84円10銭	-	116円15銭	-	85円54銭	-	151円08銭	-	-	-

当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=110.00円、11-10=129.00円、1人民元=17.00円、1SGD=81.00円で計算しております。

設備投資・減価償却費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

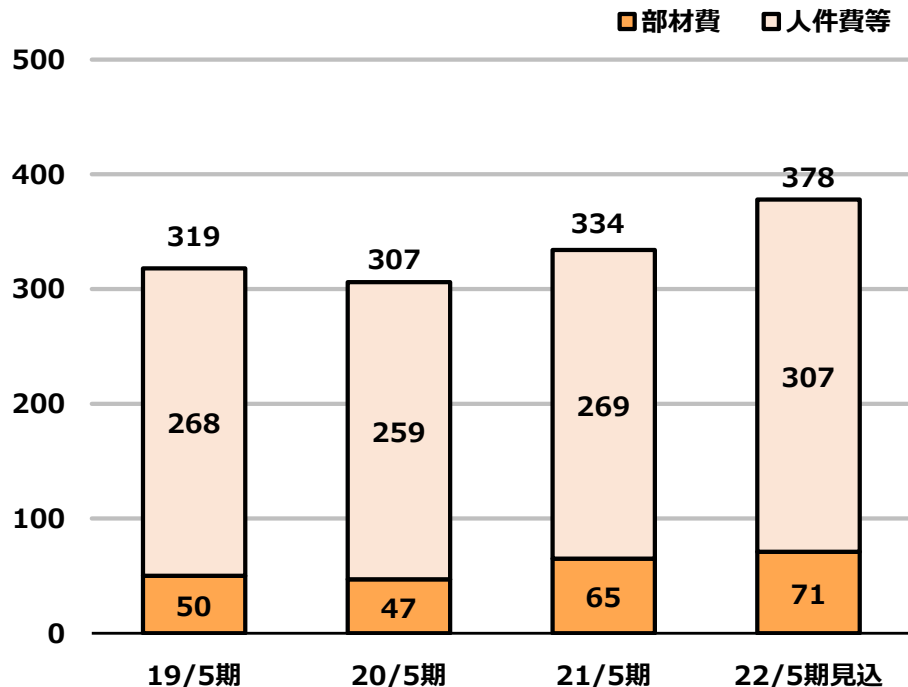
【百万円未満切り捨て】

◎主要設備投資

- 19/5期
 - ・日高新規工場棟建設 4.3億円
 - ・光学素子設備増強投資 2.6億円
 - ・オプトシグマヨーロッパ新社屋購入 1.2億円
 - ・情報システム投資 0.5億円
 - ・オプトシグマ設備投資 0.3億円
- 20/5期見込
 - ・日高新規工場棟建設 5.1億円
 - ・上海シグマ光機設備投資 0.3億円
 - ・オプトシグマ設備投資 0.2億円
 - ・オプトシグマヨーロッパ設備投資 0.2億円
- 21/5期
 - ・上海シグマ光機設備投資 0.9億円
 - ・オプトシグマ設備投資 0.3億円
- 22/5期見込
 - ・光学素子設備投資 0.8億円
 - ・基本機器設備投資 0.3億円
 - ・上海シグマ光機設備投資 0.3億円

研究開発費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

○人件費等

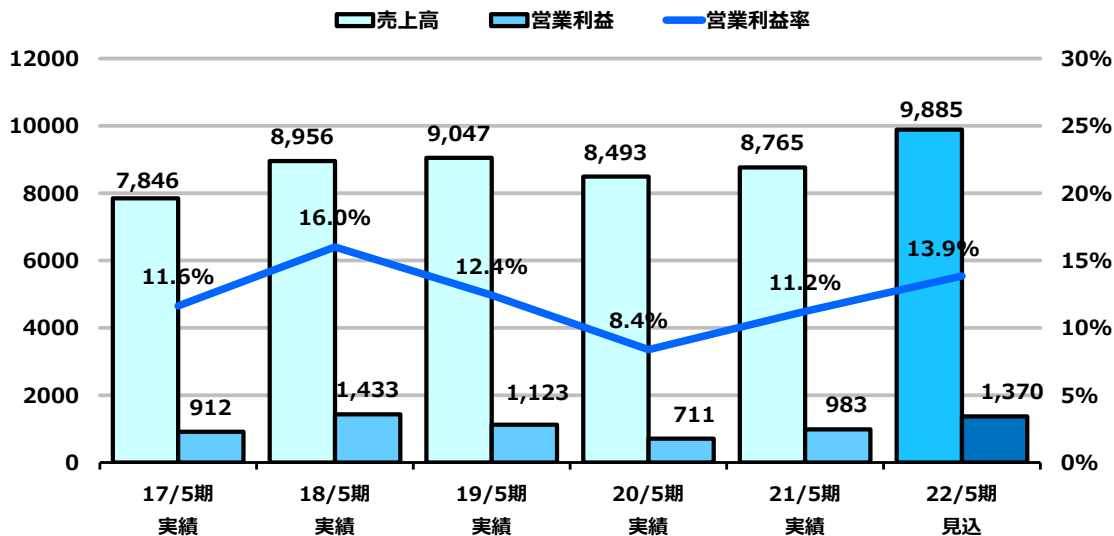
期	人件費等	研究開発費 (人件費込み) 売上高比率
19/5期	268	3.5%
20/5期	259	3.6%
21/5期	269	3.8%
22/5期見込	307	3.8%

○部品費

期	自社	産学官連携
19/5期	50	3
20/5期	47	22
21/5期	65	28
22/5期見込	71	16

6 売上高・営業利益・営業利益率予想(連結)

[百万円未満切り捨て]



2022年5月期通期サマリー

- ① 売上高は増加も先行き不透明
 - 引き続き産業分野向けが回復基調で推移
 - 感染再拡大、供給不足等、懸念材料が表面化
 - ② 売上原価率の改善
 - 製品ポートフォリオ改善による原価率の改善
 - 上期設備投資の抑制により減価償却費は減少
 - ③ 販売管理費は増加
 - 海外展示会等の広告宣伝費の増加
 - 研究開発の継続による試験研究費増加
- <販売展開の強化>
- オンラインによる販促活動の強化
 - 成長分野のリピート・OEM案件の取込み
 - 高付加価値光学モジュールの提案強化

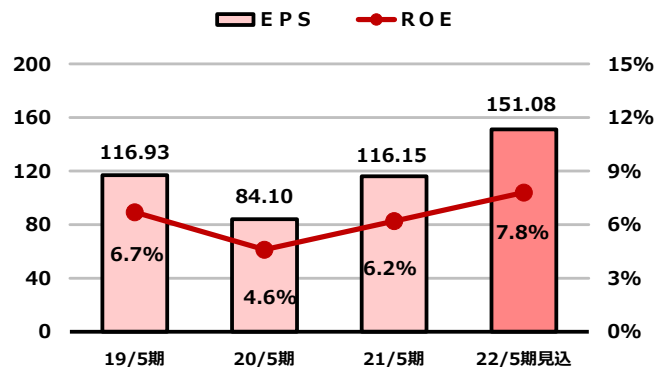
* 強固な財務体質を堅持 (連結)

- ① 自己資本比率 21/5期 : 80.0% → 22/5期2Q : 79.6%
- ② 利益剰余金 21/5期 : 8,246百万円 → 22/5期2Q : 8,710百万円
- ③ 純有利子負債 21/5期 : ▲2,468百万円 → 22/5期2Q : ▲2,228百万円

連結EPS・ROE

	19/5期 通期	20/5期 通期	21/5期 通期	22/5期 通期見込
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	828	595	822	1,070
1株当たり 当期純利益 (円) (EPS)	116.93	84.10	116.15	151.08
自己資本 当期純利益率 (%) (ROE)	6.7	4.6	6.2	7.8(*)

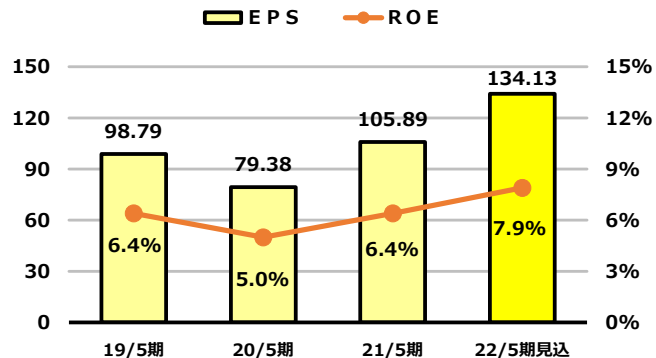
※2021年5月期末の自己資本額を元に試算しております。



単体EPS・ROE

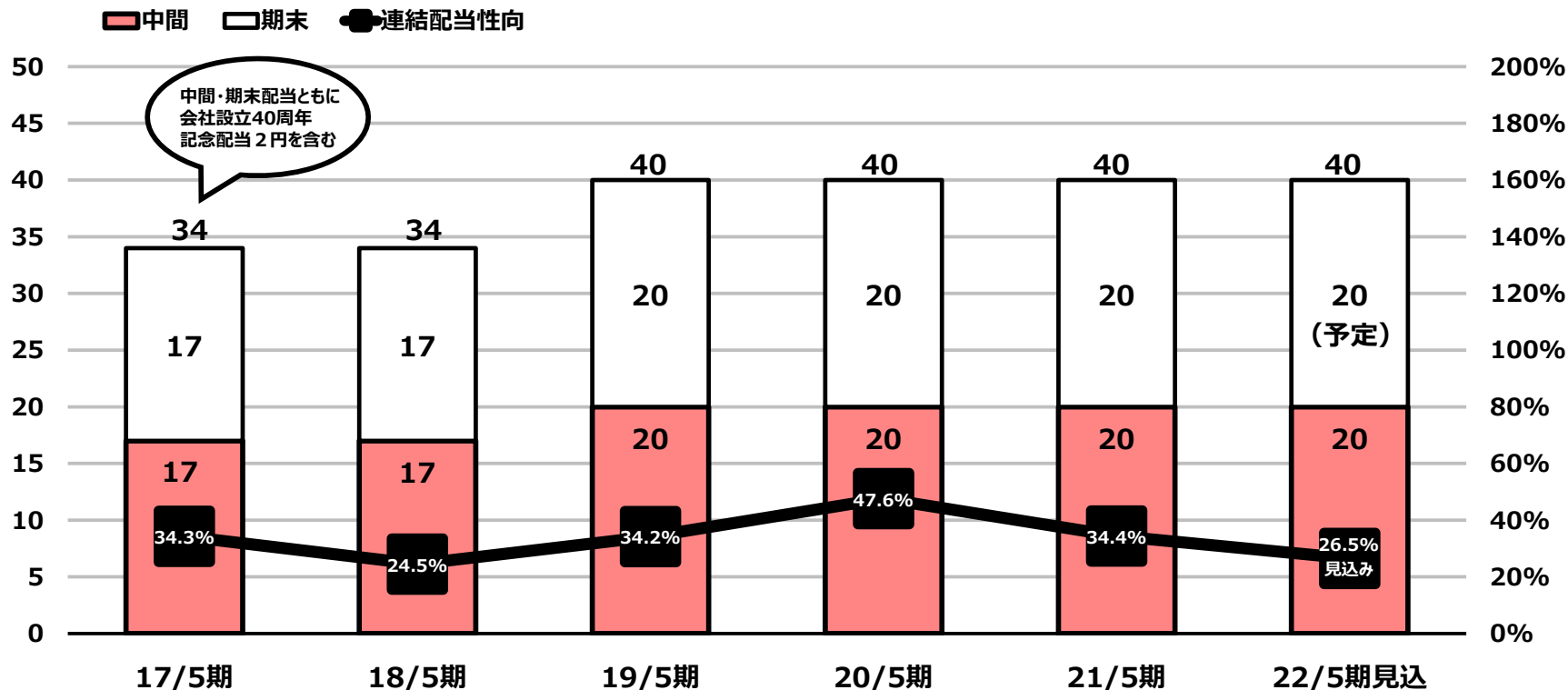
	19/5期 通期	20/5期 通期	21/5期 通期	22/5期 通期見込
当期純利益 (百万円)	699	562	749	950
1株当たり 当期純利益 (円) (EPS)	98.79	79.38	105.89	134.13
自己資本 当期純利益率 (%) (ROE)	6.4	5.0	6.4	7.9(*)

※2021年5月期末の自己資本額を元に試算しております。



継続的・安定的な配当を維持

【単位：円】



目次

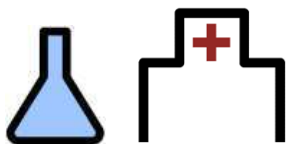
1. 2022年5月期第2四半期 決算概要
執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之
2. 2022年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之
3. 2022年5月期 営業戦略
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

国家PJ&研究機関



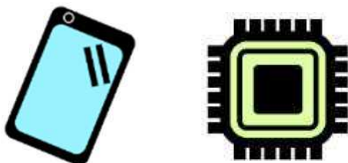
- 量子関連
- ナノスケール精度関連
- ハイパワー・特殊使用環境

メディカルフォトンクス



- 低侵襲治療・美容用途
- ポータブル化・遠隔治療
- 再生医療・バイオ観察

スマートフォン&半導体



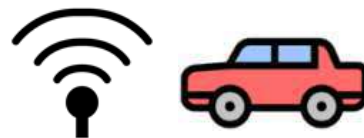
- 次世代装置(超微細加工等)
- AI&IoT
- OLED・次世代パネル

防衛・航空宇宙



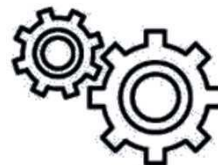
- 宇宙探索
- 天文観察
- 海上・航空監視

通信・車・センシング



- 5G用モジュール組立装置
- 次世代通信関連
- 自動運転用センシング関連

その他産業装置等



- 装置の多機能・高性能化
- 形状測定・微細加工・表面改質
- 省エネ・環境配慮
- AI&IoT

国家PJ&研究機関



- ・ナノステージシステム
- ・コアユニット顕微鏡 / ケージシステム
- ・超高分解能光学ユニット
- ・超高安定ホルダ
- ・スーパーミラー等

メディカルフォトンクス



- ・医療用レーザシステム
- ・医療用光学システム
- ・分析用組込み製品
- ・バイオ用高精度自動ステージ
- ・バイオイメージング

スマートフォン&半導体



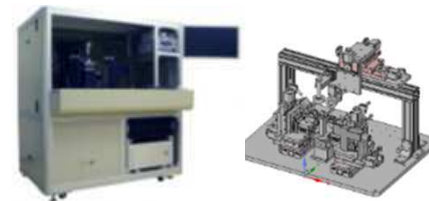
- ・レーザ加工機
- ・加工鏡筒/対物レンズ/集光レンズ
- ・高耐久光学コンポーネント
- ・高分解能光学ユニット
- ・自動ステージ等

防衛・航空宇宙



- ・地磁気センサー
- ・圧力センサー
- ・耐放射線レンズ
- ・カセグレン望遠鏡等
- ・人口衛星用光学素子等

通信・車・センシング



- ・ファイバー/導波路用自動調芯装置
- ・生産設備用光学ユニット
- ・光学モジュール等

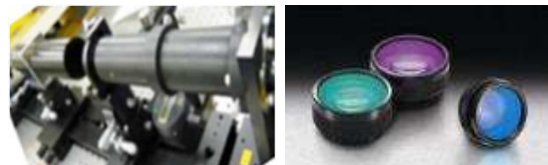
その他産業装置等



- ・ナノオーダー観察製品群
- ・X線イメージングユニット
- ・NIR観察製品群
- ・ソルダリング関連等
- ・分析用製品

① 半導体向け設備組込製品、高精度光学ユニットの需要増

- ・高精度光学ユニットの需要が増加、新規OEM獲得
- ・半導体関連OEM案件が増加
2022年末まで需要増加・継続



② 通信デバイス向けシステム・ユニットの需要増

- ・次世代向け超高精度調芯装置を含む需要が増加
モジュールの量産に向け装置・ユニットの需要増・継続



③ 医療向けレーザーシステム・バイオフォトニクス用ユニットの需要増

- ・医療向け新PJが進行
- ・バイオフォトニクス用ユニットの新規OEM案件受注

④ 研究用途大型国家PJ案件の受注

⑤ 防衛/航空宇宙関連向け光学ユニット・光学素子案件は継続

⑥ スマートフォン・テレビ向け設備投資が2023年以降縮小見込み

- ・生産設備用対物レンズを使用する一部のお客様は、
LCD製造ラインを2022年末まで延長、順次出荷予定
- ・OLED製造ラインは不透明感



■ アジア地域（中国・韓国・台湾・シンガポール）

- ・中国を中心にした生産設備組込み用製品の需要増と受注増加
- ・コラボレーションによる自動調芯装置・超高分解能観察ユニット等の受注増加
- ・大学・研究所向け高難易度チャレンジ案件の受注実績増

■ 北米・南米地域

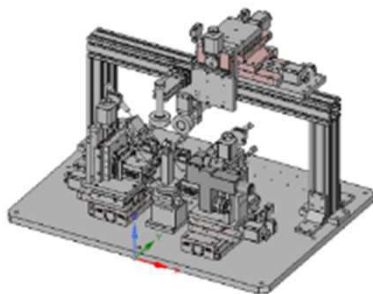
- ・新CEO効果による東海岸エリアの開拓継続
- ・生産設備組込み用製品の需要増と受注増加
- ・国家PJ、航空宇宙分野等の高難易度チャレンジ案件の受注増加
- ・バイオメディカル・バイオフォトニクス用光学ユニットの受注継続
- ・COVID-19 オミクロン株の影響は依然不透明

■ EU圏

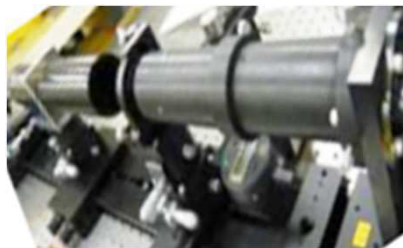
- ・大学・研究所向け大口・高難易度チャレンジ案件の受注フォロー中
- ・OSEドイツ支社の開設効果で、大型PJ・新規顧客を開拓中
- ・COVID-19 オミクロン株の影響は依然不透明

- ① OEM・ODM案件創出
- ② チャレンジ案件(オンリーワン製品)獲得
- ③ 新規潜在顧客層開拓
- ④ お客様満足度向上
- ⑤ 魅力的な新製品投入・ラインナップ強化

- 生産設備・検査設備組込み用途案件を中心に創出。
特注対応力・応用例・動画を活用、基礎実験等を
技術部門・**生産部門**と連携、OEM・ODM案件を創出



■ 国内・海外から当社技術力へ期待した 国家PJ入札含む高難易度案件を具現化



高精度光学ユニット

設計技術
製造技術
評価技術

生産設備用OEM製品、
研究用途高分解能ユニット等の
問い合わせ・受注増加中



高精度オプティカル・キャビティ

スーパーミラー
接合技術
組立技術

量子関連等、先端研究分野、
海外含め、問い合わせ・受注
増加中

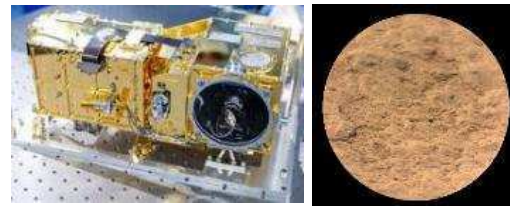


Image Credit:
LESIA Observatoire de Paris PSL

Image Credit:
NASA/JPL-Caltech/LANL/CNRS/CNRS

NASA/CNES「Mars2020計画」

火星探査機搭載

SuperCam検出器用光学素子

各国から天文・航空宇宙向け
案件の引き合いと受注継続

■ オンラインセミナー開催（2020/7より**継続**）

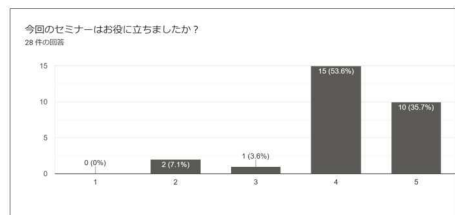
アプリケーションにおけるシグマ光機製品の使用例など
 初心者の方が解り易いセミナーを継続開催
参加者より高い満足度評価

1回/月 開催

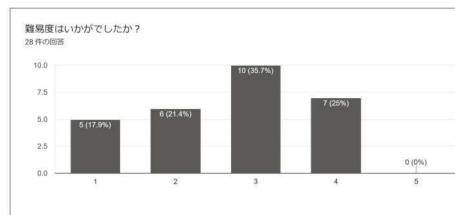
■ オンラインプライベート展示会・製品選定サポート等

オンラインと直接訪問のハイブリッドで対応
お客様に合った内容・方法

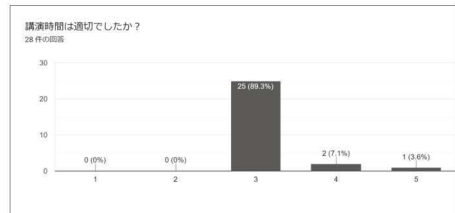
➡ お客様満足度向上・新規案件獲得



5:非常に役立つ
1:役に立たなかった



5:難しい
1:簡単な



5:長い
1:短い

2021/6/14 Webリニューアル

- お客様が使い易いWebに切り替え
お客様のご意見・ご指摘を反映、使い易いWebへ改善継続中

➡ **お客様満足度向上・新規顧客獲得**



製品一覧表示

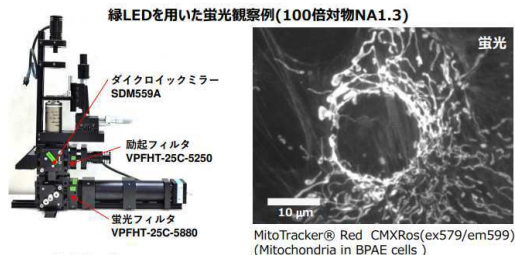


製品構成等

■ 研究用途製品



TADC-PAシリーズラインナップ強化：
手動ステージにピエゾアシスト機構を追加、
20nm以下の微動調整を実現



コアユニット ラインナップ強化：
バイオ細胞中の特定分子を蛍光観察、
研究者が実験目的に合わせた構成が可能

最先端研究・生産設備に必要な製品をラインナップ強化中

■ 生産設備用製品

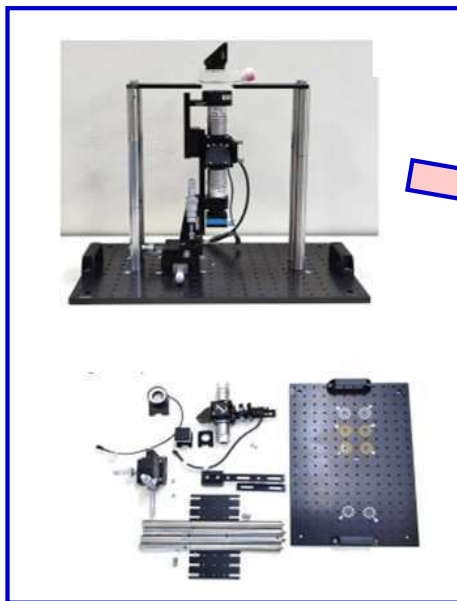


OSCM25-10X：
生産設備用途に最適化した、
省スペース・高精度位置決めを実現

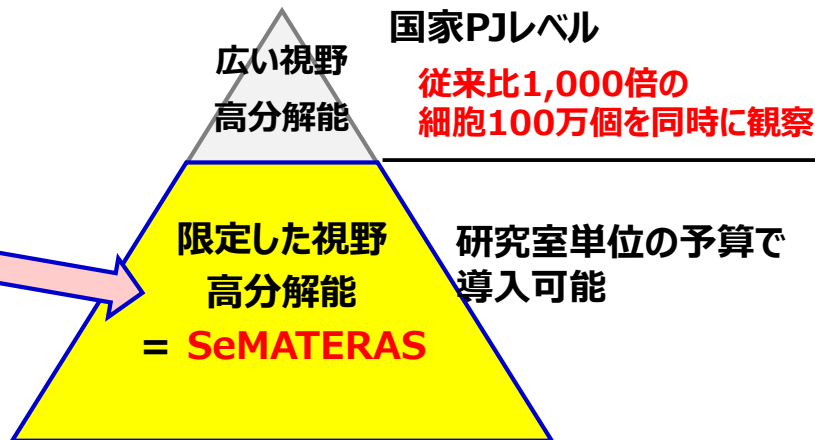


用途に合わせた様々な姿勢位置決めが可能に

生物学用高分解能観察システム



シグマ光機が開発した「SeMATERAS」



SeMATERASとは

- 国家PJレベルと同等の分解能で観察可能
光学・分子工学・数理生物学・情報科学・生物学・医学
異分野連携研究に貢献
- 研究費が少ない次世代若手研究者の活動支援になる製品

シグマ光機の技術で社会の為に貢献できる製品作りをします。

目次

1. 2022年5月期第2四半期 決算概要
執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之
2. 2022年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
執行役員 管理本部長兼経理部長 石井 康之
3. 2022年5月期 営業戦略
営業本部長 森 政之
4. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。